

ふ く つ
シルバー 福津

自主・自立、共働・共助

第26号

2018年(平成30年)

3月15日発行



シルバー人材センターで、いきいきと活動している会員の方をシリーズで紹介しています。今回は剪定班班長を務め、若手の技術指導も行っている大塚洋一さんです。年末には市民対象ミニ門松作りの講師をする等大活躍です。

シリーズ第八回

私のいきいきライフ

会員 大塚 洋一



今日も笑顔で

わんぱく少年時代

私は、戦後の昭和二十四年に現在嘉麻市である大隈小学校に入学しました。遊びは外でチャンバラっこやコマ回し、パッチン等です。夏

は川に潜り手作りの水中鉄砲で魚取り、冬は山で毘を仕掛け野鳥を取ったり、山芋掘り等実益を兼ねて遊び廻っていました。おもちゃなどはない時代でしたから、愛用の肥後守(折り畳みナイフ)を自分で砥ぎ、手作りで道具をつくっていました。

現在市民文化祭などで行っている包丁研ぎの技はその頃に身に付いたものです(笑)。

あこがれのマイホーム

炭鉱で働いていた叔父は電気の仕事が専門でした。手先が器用でモーターを改造し、自作の扇風機を作っている姿を見て自分も電気関係の道へ進もうと思いました。

昭和三十六年工業高校卒業と同時に八幡製鉄所に入社し以降六十年代年を迎えるまで、電気や制御装置のメンテナンス業務を担当しました。現場は高温・粉塵と過酷な環境で二十四時間フル操業の為にトラブルが発生すると、昼夜を問わず呼び出され、大変苦労しました。

結婚当時は社宅に入居していましたが、マイホームを持つ事が夢でした。昭和四十八年に会社の持家融資制度を利用し、魚釣りにはまり始めた事もあって海に近い自然豊かな津屋崎に家を建てる事になりました。この年はオイルショックの年でトイレットペーパー騒動や、建築資材の枯渇、併せて次女の出産、長期出張(単身赴任二年間)などが重なり、女房に大変苦勞をかけました。

宮司ヶ丘
ソフトボール同好会

地域のソフトボールチームに所属して四十年程になります。結成時はメンバーも多く、大島や南阿蘇で合宿したり、他県へ遠征したり、「三百歳ソフトボール大会」で優勝した事もあります。最年長のメンバーは八十五歳でまだまだ元気です。余談ですが剪定作業の見積りで発注先を訪問したら何とその方が出てこれれお互いビックリしたことがあります。娘婿さんの家に同居されていて判らなかつた、世の中狭いですね。

今はメンバーが少なくなってきたので、来るもの拒まずで現在も土・日曜日は練習や津屋崎リーグ戦の試合で汗を流しています。最近、時々ですが私の二人の中高生の



フルスイング

孫も参加するようになり、楽しさが倍増しています。

兄弟寄り

母が亡くなってから兄弟五人が一堂に会する事が少なくなった為、十年程前から積立をし、年一度兄弟寄りをすることにしました。これまでに温泉旅行を兼ねて、加賀・有馬・雲仙・別府・指宿などに行きました。そこで私の幼少時代の話になり、近所の叔母の家でそろばんを足で転がして遊び、パチが当たるぞと叱られ、その晩、母の

横で寝ていたら蚊帳の裾がスーと上がり「幽霊が出た」と恐怖でうなされ、祈祷してもらった事を思い出します。他にも皆が集まると昔のおかしく懐かしい話は尽きま



兄弟寄り(西郷どんの銅像の前で)

せん。お陰で兄弟の近況や健康状態を知る事ができます。

第二の人生

退職後は再雇用の話もありましたが香椎のハローワークに毎日通い、目にとまったのが高等専門技術学校でした。前々から植物など自然と関わる事がしたいと思っていましたので早速、勉強し運よく試験に合格、半年間、造園・剪定技術の基本を学ぶことが出来ました。仲間との卒業記念の庭園造りはテレビでも紹介されました。その後

「心優しいリーダー」

大塚さんへ仲間からひとこと



会員 高須 信義

宮司ヶ丘ソフトボール同好会に参加したことがきっかけとなり、大塚さんと知り合いになりました。それからソフトボール・子ども会役員・魚釣り・ゴルフ・シルバー

人材センター・ボランティア活動など、お付き合いが現在も続いています。

ソフトボールでは、当初から三塁手として、守っては飛んでくる球の鋭いショートバウンドなどを的確に処理され「野性的反応」と言わしめるほど守備は鉄壁を目を見張るものでした。現在は、主将を務め皆さんのリーダーとして活動を継続されています。

またある暑い夏、大塚さん所有の小型ボートでいっしょに舟釣りの最中、夕立に遭い、急遽沖から港へ帰路の途中、親子連れの手漕

ぎボートが必死に陸に向かっていくのに遭遇し、大塚さんはとっさにUターンして、ロープを投げ曳航したことがあります。全身ずぶ濡れになり、風邪をひきかけたそうですが、本当に心の優しい人です。

ゴルフ同好会でも、ドライバード素晴らしい飛距離を出されていますが、チョット球筋の方向が狂った時に苦労をされているのが見受けられます(笑)

これからも各方面でますますの活躍を期待しています。

勉強したことを役立てるため津屋崎町のシルバー人材センターに入会しました。当時は剪定を担当している会員が少なかったため、とても喜ばれました。それ以降現在までこの仕事に従事しています。剪定作業を通じて地域の多くのお客さんとの出会いがあります。作業が終わった時「スッキリしてきれいにまりました。ありがとう」と言っています。私の仕事でのモットーは「お客さん目線で安全にきれいに早く」です。長年シルバー人材センターにお世話になっていますがこの間、安全委員や広報委員を担当したり、各研修会や互助会活動にも参加して新たな出会いがたくさんできました。毎月実施される会員互助会のゴルフ同好会のコンペは特に楽しみにしています。これからも健康に留意しながら、仕事に遊びに頑張りたいと思います。

福津市シルバー人材センター

会員数

平成30年2月末現在

男性 399人
女性 108人
合計 507人

皆さんの「ちょっと手伝って!」にお応えします

お仕事のご依頼について



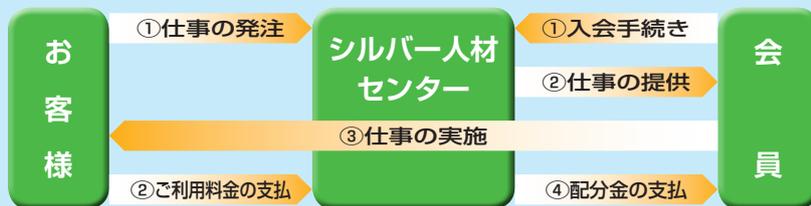
主なお仕事

駐車場管理、駐輪場管理、施設管理、物品管理、空き家管理、学習教育講師、パソコン講師、運転、大工、左官、襖・障子張り、塗装、組立、加工、植木剪定・消毒、一般事務、伝票整理、宛名書き、毛筆筆耕、調査事務、受付、公園掃除、除草、草刈り、包装、梱包、検査、商品整理、農作業支援、パンフレットの配布、外出・通院の付添い、高齢者等の介助、高齢者等の話し相手、引っ越しに伴う整理、家庭内の掃除・洗濯・食事の支度、買い物、園児の送迎、留守番、子守り、分別ごみ出し 等

シルバー人材センターの仕組み

お仕事のご依頼内容によって、契約の形態は『請負・委任』と『派遣』に分かれます。

1. 請負・委任によるお仕事



指揮命令を伴わず、業務遂行を目的とする働き方です。

2. 派遣事業によるお仕事



^(※) 連合・センター(派遣元)と派遣会員との間に雇用関係が生じます。派遣会員はお客様(派遣先)の指揮命令により就業します。

※連合：福岡県シルバー人材センター連合会の略称です。

発注者の声

「シルバーさん無しでは成り立ちません」
 くわの農園 栗野^{ふの} 由美



くわの農園は本木で農業を代々営んでいます。家族経営ですので十数年前までは家族と親戚の方にたまたま手伝いに来てもらいながら農作業を行っていました。

そんな中、私が体調を悪くして中腰等の体勢で農作業を行う事が難しくなりました。

そこでご近所の方がシルバー人材センターの方に来てもらっているのを知り、我が家にも来ていただくことにしました。

最初は女性会員の方にイチゴの作業をサポートしていただいたりしていました。

現在は男性会員の方に、主にキャ

ベツの収穫をサポートしていただいております。

毎年冬から春にかけて、週二回お願いしていますが、暑い日も寒い日も皆さん本当に元気いっぱいにお仕事をしてくださるので大助かりです！

だいたい同じ会員さんが来てくださっているので作業の手順もわかっ
ていて、「これが終わったら次はこれやね」と、ご自分たちで次々と仕事をこなされて、作業が終わるのがとても早いです。

キャベツの収穫が早く終われば、私たちが別の作業に取り組みますので早く終わる分は本当に助かります。作業の合間に聞くお話も人生の先輩のお話としてとても興味深いものがあります。

我が家の経営にシルバー人材センターの会員さん無しというのは今では考えられません。本当に「感謝！」の言葉しかありません。

これからも会員の皆さんにはいつまでも元気でいていただきたいです。シルバー人材センターの会員さんを見習い、私たちもますます元気に、さらに美味しい農作物を育てていけるように努力いたします。



キャベツの収穫作業

「想い出の場所」
 空き家管理を依頼して
 下野 加代子

福津市は、夫のご両親が、第二の人生の地として、長崎県より移住し、約三十年住んでいました。

二年前に結婚した長女が、三歳の頃、れんげ草をつみ、楽しそうに髪飾りを編んだりしていました。又、お義父さん達の介護に熊本県八代市の妹さんが通った家でもあります。法事でその妹さんのご家族と、東京の兄の家族が集まり、町内会の盆まつりに参加したり、海にでかけたり、温泉に行ったりと楽しいひとときを過ごす場所となりました。

しかし、お義父さんが亡くなり、お義母さんも亡くなり空き家になりました。

法事が済み、空き家管理をどうしたものかと考えていたときシルバー人材センターの職員の方がいらして、しばらくしてお世話になる事になりました。

私達は、東京に住んでいますが、草むしり、家の空気の入替え、簡単な清掃など空き家の見守りをして頂いています。そして電話なり書面で丁寧に作業の日、変化、必要な物など知らせて頂いているので、とても安心です。

いずれは、この家とも別れなければならぬと思いますが、今は、突然出向いても安心なので、とても心強いシルバー人材センターで、大変お世話になっております。



家の中の風通し・清掃作業

指あみマフラーづくり 11月24日



刈払機講習

人材育成事業 9月26日～27日



剪定講習 2月20日



各種講習会

シルバー人材センターでは、市民対象に講習会を開催しています。指あみマフラーづくり、刈払機講習、子ども用箱イス作り、ミニ門松づくり、剪定講習、おりがみサロン等好評でした。講習会は市の広報等でご案内しています。

安全衛生教育修了証授与



おりがみサロン 2月23日



子ども用箱イス作り
(子育て支援センターと連携)
1月20日



ミニ門松づくり 12月24日



会員学習会

適正就業ガイドラインや事業実施状況報告とともに、関係機関の協力を得て健康づくり、交通安全等の講習を行いました。



福間・上西郷校区 1月30日
事業実施状況報告



福間・上西郷校区 1月30日
交通安全講習(宗像警察署)



福間南校区 2月9日
健康講話(市いきいき健康課)

普及啓発 促進事業

シルバー人材センターの普及啓発促進事業を十一月三日(金・祝)〜四日(土)の二日間、カメラリアホール前で開催しました。

好評の「包丁研ぎ」をはじめ「リサイクル自転車」「手づくり手芸品」「ボカシ」「わた菓子」の各種販売、パネル展示による事業紹介、お仕事相談コーナーを設けました。



リサイクル自転車販売
どれが良いかな?じっくり選びます



美味しいわた菓子販売



包丁研ぎ



シルバー人材センター紹介
パネル展示



水槽の中のコップへ
コインが入りますように



イベント風景



手づくり手芸品販売

私たちの自信作です

門松づくり



昨年12月、剪定班有志が事務所前で
門松を作りました。

編集後記

シリーズで掲載している「私のいきいきライフ」も第8回目(男性6名、女性2名)を数えました。共通しているのは、皆さん、仕事・趣味・家族サービスとバランスよく活動されていることです。

私たちも、前向きに適度な好奇心を持ち、身体と頭を使って、毎日を生き生きと過ごしたいものです。

広報・啓発推進委員会一同

発行 公益社団法人 福津市シルバー人材センター 企画編集 広報・啓発推進委員会

●あなたのやる気が地域を元気にします！

随時

会員募集中です！

●シルバー人材センターとは

センターが提供する仕事を通じ、会員のいきがいと健康づくりを基本に地域社会に貢献する公益団体です。

●会員になるには

市内在住で、原則 60 歳以上の健康で働く意欲のある方。入会希望の方は入会説明会にご出席ください。

●入会説明会

毎月第1・第3水曜日の10時から、シルバー人材センター事務所でしています。

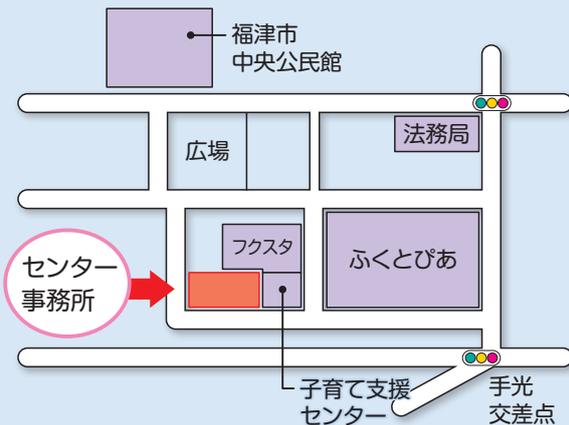
●入会説明会風景



●入会説明資料



シルバー人材センター事務所ご案内



●会員互助会活動 センターに登録している会員で構成され、親睦と相互扶助を図ることを目的に様々な活動をしています。



ボウリング大会



健康マージャン大会



ウォーキング(相島)

公益社団法人 福津市シルバー人材センター

〒811-3218 福津市手光南2丁目1-1 ふくとびあ・いきいき交流館内

TEL 0940-43-6541 FAX 0940-43-1214

メールアドレス fukutsu-sc@sjc.ne.jp URL <http://www.fukutsu-sjc.jp/>